

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-8512
 住 所 川崎市川崎区塩浜1-1-1
 氏 名 プレス工業株式会社 川崎工場
 取締役社長 美野 哲司 印
 (代理人) 川崎工場長 小澤 光義
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	プレス工業株式会社 川崎工場		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区塩浜1-1-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	31	輸送用機械器具製造業
主たる事業 の内容	自動車部品製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,465	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1.基本方針

ものづくり企業としての誇りを持ち、地球環境を大切に、社会と共生することを経営の重要課題の1つとして認識しながら環境マネジメントシステムを継続的に改善し常に環境パフォーマンス向上を目指します。

2.重点取組事項

生産工法の改善、業務の効率化、省資源、省エネルギー化により二酸化炭素排出量削減を推進します。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

1.排出量削減計画に基づき排出量削減の目標設定を行い年度計画を策定する。

具体的な実施項目については環境委員会にて確認・承認を行う。

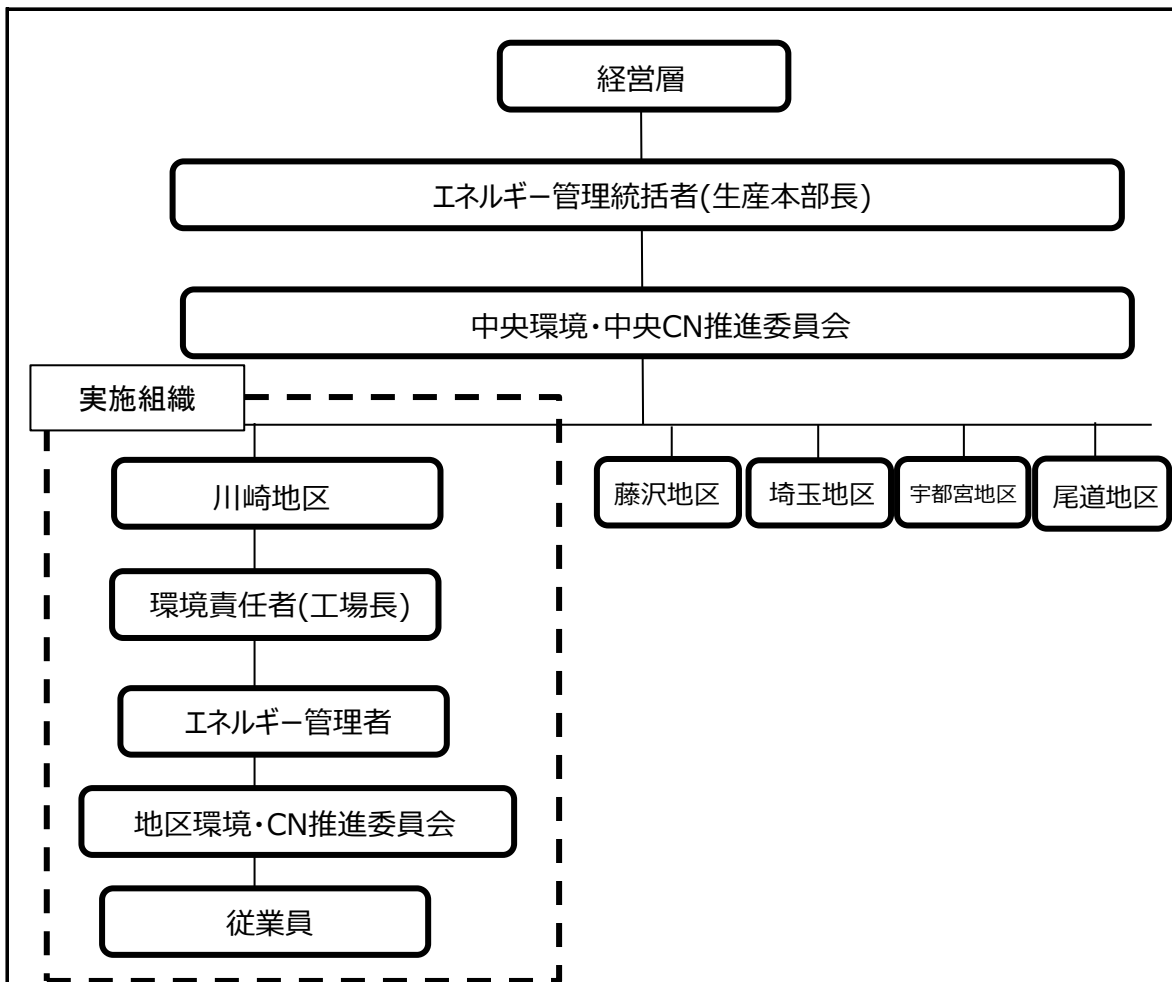
2.年度計画の実施項目の進捗管理と実績管理を事務局にて毎月管理を行う。

3.定期的に関催される全社CN推進・環境委員会、地区CN推進・環境委員会で

年度計画の実施項目の進捗報告と実績報告を行う。

進捗遅れ、実績遅れ等が発生した場合は目標達成のために見直しを行いアイテム追加を実施する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準年度		2021	年度
目標年度		2024	年度
基準排出量	(実)	4,371	(実)
	(調)	4,338 t-CO ₂	(調)
			t-CO ₂
目標排出量	(実)	4,240	(実)
	(調)	4,208 t-CO ₂	(調)
			t-CO ₂
削減量	(実)	131 t-CO ₂	(実)
			t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実)	131 t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂
			(実)
			t-CO ₂
削減率	(実)	3.0 %	(実)
			%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		付加価値	
原単位の単位		t-CO ₂ /百万円	
基準年度の値		1.053	
目標年度の値		1.020	
削減率		3.1 %	%

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、排出量、排出量原単位共に年平均1%削減することとして目標を設定した。これは「エネルギーの使用合理化に関する法律」における事業者の削減努力目標と合わせて設定したものである。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 照明設備の運用管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明のLED化推進 ・ 工場屋根の明りとり推進による照明設備間引き 2. 電動力設備の無負荷時消費電力削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空転防止・インバータ化の推進 3. 省エネ設備導入推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化設備更新に伴い省エネ設備導入 4. 主要設備等の保安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防保全による故障率低減伴う設備停止時間低減 ・ エア漏れ削減推進 5. 物流改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォークリフト削減 6. 水素エネルギー導入検討
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ol style="list-style-type: none"> 1. 工場照明設備にLED導入 2. 排気ファン1次側インバータ化推進 3. 重油ボイラーをガスボイラーに更新

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	導入に向け継続検討中
風力	×	敷地スペースを考慮し導入断念
バイオマス	×	原料確保が困難と判定
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	△	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	△
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	△	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 積載率向上による輸送効率の向上 2. 産業廃棄物の減量化、分別化の推進 3. 従業員への環境啓発 4. 工場全体で省エネ推進
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	4,371	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,465	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
プレス工業株式会社川崎工場	川崎市川崎区塩浜1-1-1	4,371 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂